



国指定史跡「角塚古墳」(胆沢区)

ら、完売の状況となっております。

質問 風評被害等、考えられる市独自の対策を伺います。

市長 対策には、消費者が正確な情報を得て、当市の農畜産物の安全性を実感し、安心して購入することができるような仕組みづくりが重要です。そのため、品質管理体制を速やかに構築し、検査によって安全性が確認された農畜産物につきましては、物産展等の機会や流通過程において、その安全性を積極的かつ客観的にアピールして参ります。

質問 角塚古墳の杉の養生について伺います。

教育委員長 墳丘上ふんきゆうの一本杉につきましては、強風による枝折れのほか、近年、幹先端部に枝枯れが見られる状況です。問題として、

根腐れによる樹勢衰退も懸念されますので、今後も経過観察を続けながら、急激な樹勢衰退を招くことがないよう可能な対策を講じて参ります。

質問 観光

ルートとしての考え方について伺います。

市長 平成25年の完成を目指す胆沢ダム周辺と国道397号線沿いも観光ルートとして大きな期待が寄せられ、角塚古墳をはじめとした文化財もその重要な観光資源となるものです。

○防災対策について ○統合前沢小学校建設に



小野寺 重

質問 胆沢ダムは20年の歳月と、2500億円もの巨費を投じて平成25年に完成が見込まれます。多くの機能を備え地域に計りしれない潤いをもたらすと思います。3月の東日本大震災などをみると、地震発生時にダムの決壊による内陸津波が発生しないという保証はありません。万が一に備えハザードマップを作成するなど早急に防災計画を策定すべきと考えますが伺います。



統合前沢小学校造成工事 (旧前沢中学校跡地)

市長 平成26年からの本格運用に万全を期すため、有識者からなる胆沢ダム長期安全点検委員会を作り安全性の再点検を始めています。国・県・関係機関と連携しハザードマップの作成等、検討してまいります。

質問 統合前沢小学校は前沢区7小学校を1校にし、7百人規模の

学校にするものです。スクールゾーン整備等も同時に進めなければ統合効果が半減し、教育現場は混乱しないか心配です。以下4点について伺います。①各建設検討委員会の状況について②実施設計について③通学路整備について④放課後児童対策について

市長 平成26年開校にむけ進めており、③課題解決のため限りある財源ですが、重点的かつ効率的に配分していく考えです。

教育委員長

①通学路、スクールバス運行、校名、校歌など学校関係者、地域住民と協働し協議しております。②本年10月中に完了し報告いたします。④児童館等既存施設の状態、位置、児童の移動、道路事情の調査検討を行なっています。意見を伺いながら放課後における子どもたちの安全対策を検討して参ります。

○原発事故の影響と対策について



今野 ひろふみ

質問 ①肉牛の出荷停止解除にむけた全頭検査体制と市の認証シス